

鉄 道

(J R 常 磐 線)

- ① 不通区間：広野～原ノ町駅間、相馬～亙理駅間
- ② 相馬～亙理駅間について、まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、J R 東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討。

この検討結果等を踏まえ、運転再開に要する期間は、J R 東日本によれば工事着手から3年程度を見込んでおり、見込み通りの用地取得と工事進捗を前提とすれば、相馬～浜吉田駅間の運転再開時期は概ね平成29年春頃となる。

浜吉田～亙理駅間については、J R 東日本が、平成24年8月に現位置での復旧工事に着手し、平成25年春頃に運転再開見込み。
- ③ 避難指示解除準備区域内の広野～竜田駅間については、JR東日本においてこれまでも一定程度の調査を行ったところであるが、引き続き詳細な調査を行い、被災状況の確認を行う予定。また、桃内～原ノ町駅間については、JR東日本において詳細な調査を実施し、大きな被害は確認されていないところ。国土交通省では、今後、除染の進捗状況、地元自治体の要請等を踏まえつつ、住民の帰還に合わせて復旧出来るようJR東日本を指導。

警戒区域内の竜田～桃内駅間については、JR東日本において調査を実施中であり、国土交通省では、区域見直しの状況や除染の状況、住民の帰還状況等を踏まえつつ復旧方針を検討するようJR東日本を指導。

また、政府においても、J R 東日本及び関係省庁からなる「避難指示区域内におけるJ R 常磐線復旧に係る検討チーム」などにより、J R 常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を引き続き実施。
- ④ 平成23年度における成果
平成23年12月21日に、原ノ町～相馬駅間が運転再開。
相馬～亙理駅間について、運転再開目標時期を提示。
- ⑤ 平成24年度の成果目標
 - ・相馬～浜吉田駅間については、1日も早い運行再開に向け、JR東日本及び関係自治体等が協力し、移設に必要な用地の確保や鉄道施設の整備において工期短縮に努める。
 - ・広野～原ノ町駅間については、「避難指示区域内におけるJ R 常磐線復旧に係る検討チーム」を通じ、J R 常磐線の復旧調査・工事を進めていく上での課題に対応するための支援を実施。

インフラ復旧の工程表（鉄道）

平成24年10月末現在

●→ : 工程が見込めるもの ●.....→ : 工程が現時点で見込みにくいもの

	整備主体	被災/稼働状況	H24年度				H25年度				H27年度以降				備考・ポイント等	
			4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
交通網・鉄道																
JR常磐線	JR東日本	不通区間: 広野～原ノ町、 相馬～亶理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 相馬～浜吉田駅間については、運転再開に要する期間は、JR東日本によれば工事着手から3年程度を見込んでおり、見込み通りの用地取得と工事進捗を前提とすれば、運転再開時期は概ね平成29年春頃となる。 浜吉田～亶理駅間については、8月1日に現位置での復旧工事に着手し、平成25年春頃に運転再開見込み。
			●.....→ 広野～原ノ町				●.....→ 復旧方策の検討等									
			●.....→ 相馬～浜吉田				●.....→ 測量、設計、用地取得、工事等									
			●→ 浜吉田～亶理				●→ 復旧工事									